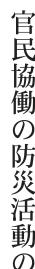
世界津波の日

高校生サミットの評価は

官民協働の防災活動 の成果





さかもと **坂本** あや

どのように評価しているか。 成功裏に終わったと思うが、 生サミット・イン・黒潮」は 波の日」の記念行事、 本町で行われた「世界津 「高校

大西 町長

外

務省から、

「通常は専門

れていた。 年スマトラ島沖地震インデオ びに来た高校生は、2004 及するために日本の防災を学 銘を受けた。自国の防災を追 小学生のときに経験した高校 大津波によってご家族を失わ 参加した高校生の姿勢に感 東日本大震災を、

分たちがこれから生きていく 決いただいた黒潮宣言は、 お越しいただいた皆さんに議 あった。 を目撃するなど、 生からは、 文ではないかと、 上で指針となるひとつの宣言 をしている。 しかし、 被災者の最後の姿 サミットに 非常に評価 辛い報告も 自

問 のように進められたのか。 会の運営は、具体的にど

畦地 教育次長

やっていただいたと思う。 当に無理を言ったが、完璧に 備をするものだ」と言われた。 0 に当たったので、 部署を作って、 盛り上げ隊として、 町民の皆さまには、 準 通常の業務をしながら事 ・備期間が半年少しかな 2年くらい準 職員には本 歓送迎 25 日歓

> 上げたい。 成功に終わった。感謝を申し 対応していただいたお陰で大 での見送りまで、サミットに 迎の時から27日早朝、 雨の中

が上がり、 たことで、 も手を振って送ってくださっ て、 いる生徒もいた。 田の口小学校だけではなく 沿道、 また自宅の窓から バスの中では歓声 中には涙を流して

占 れたのはどういう理由からか この大会が本町で開催さ

大西 町

催地となったということで、 災が評価されてサミットの開 住民の皆さんが進めてきた防 策を進めてきたこの町の評価 津波高の想定が突きつけられ 最大の理由は、 間違いだ。 とよく言われるが、 想定を突きつけられたからだ 住民主導でサミットを誘致し をいただいたからだ。つまり、 ながらも、 サミットの開催地として決 官民協働で防災対 選定をいただいた たのは、 その日本一の 日本一の 明らかに

12 1/2

歓迎のスピーチをする大西町長

たといった非常に珍しい ケー るさとを否定されるような時

期があった。

それをきちっと

域担当制等々で防災を進めて たと考えている。 のサミットの誘致につながっ たと思っている。実際にその としての組織力に評価を受け きた数年間の中で、行政組織 ルの運営については、 スになっている。 ような評価をいただき、今回 また、今回のサミットレベ 職員地

自分たちのまちづくり、

ある

報告書をしつかりと分析し、

サミットであると思う。

最終

とができ、最大の節目がこの この4年半でひっくり返すこ

ていくこと、これが自分たち

いは防災にしっかりと生かし

に求められている姿勢だと

外部からは、 自分たちのふ

思っている。